

事業所名

キッズサポート・きらら

支援プログラム

作成目

2025 年

4月

1 目

法人（事業所）理念		2008年に横浜市障がい児居場所づくり事業の一つとしてキッズサポート・どんとを開所以来、長きにわたって障がいのある児童・生徒に携わってきました。今後とも引き続き「お子様が通い続けられる楽しい場所づくり」「ご家族が気軽に相談できる関係性を築くこと」を大事にしています。また、社会福祉法人の一員として「地域の中で誰もが安心して生活できること」をめざし、「療育」・「福祉」の両面から皆様をサポートします。											
支援方針		・ 個別支援計画に基づき、各種プログラム活動を通じて支援をしています。さまざまな領域をもとに目標を立て、友達やスタッフとの関わりなどの中で取り組んでいきます。 ・ 当法人のさまざまな部署と連携しお子様やご家族をサポートします。											
営業時間		放課後 学校休業日	13 11	時	30 30	分から	17 17	時	30 30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	行動注意：注意転導、無関心等への対応。衝動性や問題行動等への対応。 活動：キッズ内の活動を上手に行えることを目指す。 情緒：自信がない、気持ちが崩れやすい、テンションが高い低いなど。											
	運動・感覚	粗大運動：歩く、走る、座る等。 微細運動：はさみ、描画、のり、指先関係。基本的に、巧緻性に関するもの。 操作：お茶を入れる、机を拭くなどを上手におこなう。 協調運動：体操、ボール等を投げる・蹴る等。											
	認知・行動	基礎理解：基礎的な認知能力、操作（出す、入れる、見る、記憶、構成、型はめ等）。物の使い方がわかる、状況理解、物と物の関係の理解、活動の流れの理解など。 主に言葉が出る前の時期。 手順の理解：手順を理解して係の仕事にができるように取り組む。 ルール理解：言語があっても、ルールの理解が悪い場合に取り組む。											
	言語・コミュニケーション	手段：要求等の手段の獲得。 ことば：言葉や身振りなどの理解・表出することで語彙を増やす。 会話：会話力をつける（質問する、質問に答える、話題を広げるなど）											
	人間関係・社会性	対人意識：1対1場面で視線が合う、他者に合わせる（一緒に物を運ぶ、交互のやりとり）など。 集団参加：複数の友達を意識してのやりとり（カードゲームやボードゲームを一緒にすることなど）。 初期の段階では、集団の中にいること、（スタッフの）お手伝いや他者に合わせることを含む。 調整的役割：集団の中でリーダーになる、司会をする、他者の意見を聞いて話をまとめるなど。											
	遊び	遊びが少ない時などに、遊びを広げるよう取り組む。											
家族支援		・ 保護者向け勉強会などを通して障害福祉サービスの制度や仕組みについて学ぶ機会を提供する。 ・ 保護者との対話の機会を大切にし、気になることや困りごとなどがあれば必要に応じて基幹相談事業などにつなげる。							移行支援		・ 資源を広げる。必要に応じてどんとこい・みなみの生活支援事業や基幹相談事業などにつなげる。 ・ 卒業生には作業所に渡す申し送り書を作成している。		
地域支援・地域連携		・ 資源を広げる。必要に応じてどんとこい・みなみの生活支援事業や基幹相談事業などにつなげる。 ・ 支援者会議等への参加し、ご利用児の情報や対応について共有する。							職員の質の向上		・ 法人内外による研修（人権研修・防災研修・ケース検討研修等）		
主な行事等		・ 季節に合わせた制作活動（お正月・節分・こどもの日・七夕・十五夜・クリスマス） ・ おやつづくり											